

令和5年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 6月の講座紹介

今月のテーマは「狂言」。初回は、能と狂言の違いや、能楽から発生した風習や言葉について学び、2回目は能楽堂の舞台上で、木を伐る所作を体験しました。選択「木版画」「竹工芸」講座では、もの作りの楽しさを実感しました！

狂言を楽しむ 6月7日、14日（水）



当番さんによる初めの挨拶



初回は、スライドを使って講義

受講生の感想（抜粋）

- ・能・狂言について、芸能の起源から説き起こして言葉の語源まで幅広く学ぶことができ、とても興味深かったです。
- ・桃太郎や鬼退治の話等、先生のお話にすっかり引き込まれ楽しかったです。
- ・能楽堂の舞台構造や楽屋の配置を学び、講師の間近で狂言の所作や発声の指導を受けたことにより狂言を身近に感じることができた。今後、狂言を生で鑑賞したい。どんな世界が広がるか楽しみです。



豊田市能楽堂で講義を受けました、感動です！



講師：井上松次郎 氏



楽屋では「焙じ室」の説明も



橋掛りを渡って舞台へ のこぎりで木を伐る所作、ズカズカズッカリ！



選択：木版画 5～6月 計8回



講師：加藤照子 氏



受講生の作品 （一部紹介）



会場を回って丁寧に指導する講師



図柄に沿って彫り進めます



絵の具を付けてパレンでこする



選択：竹工芸 4～6月 計8回



講師：鈴木脩希 氏



四ツ目、六ツ目の籠が完成！



講師の手元をよく見てね

受講生の感想（抜粋）

- ・六ツ目編みと四ツ目編みの籠を作り上げ、四ツ目編みの立上げ方やヒゴ作りまで実習出来て、難しかったがとても楽しかった。もう少し継続して挑戦したいです。